

技・家だより

令和7年度 第1号 通巻187号

発行

愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

『えひめの技術・家庭科教育の今後に向けて』

愛教研技術・家庭委員会 委員長 原 寛幸

はじめに

今年度、委員長を務めることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。まずは、令和7年度教育活動がスタートし、各支部において体制を整え、研究や研修を進めていること感謝申し上げます。引き続きご協力をお願いします。

去る5月22日、「次期学習指導要領に向けた改訂作業を行う中教審特別部会において、文部科学省が現行の技術・家庭科を技術と家庭の二つの教科に分け、技術の全ての領域に情報教育を盛り込むとした。」とする内容が報道されました。ご記憶の方も多いと思います。この報道に関して、6月1日に開催された全日本中学校技術・家庭科研究会全国理事会の中で、文部科学省の渡邊教科調査官から内容説明がありましたので一部を紹介します。

議論の最中であることから確定したものではなく、あくまで現時点での内容であることが前提です。

技術・家庭科の今後について

【教育課程企画特別部会での議論】

これからの教育において情報活用能力の抜本的向上が必要不可欠であるが、学校教育において、情報活用能力が系統的に指導されておらず、その育成が十分とはいえない。小中高通じた体系的・抜本的な情報活用能力の教育内容の充実が求められる。

⇒ 中学校段階では

- ・ より発展的に情報技術を理解・活用して問題発見・解決する力を育成する観点から、技術分野の領域「情報の技術」を引き続き受け皿と位置づけ、大幅な充実を図ってはどうか。
- ・ その際、現在の技術・家庭科のあり方（教員免許、担当教員は別であるが、成績評価の際は1つの教科として記載）をどう考えるか。

【中学校・技術分野の論点】

○技術分野の現状と課題

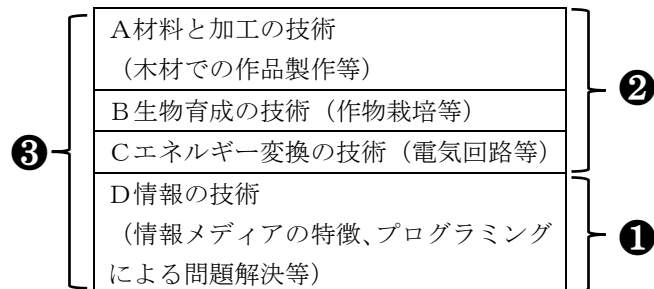
- ・ 現代のものづくりはデジタル技術の恩恵で大きく変化
- ・ ノーコードや生成AIなどいわゆる「デジタル技術の民主化」で、一人ひとりの思いや願い、意志を具現化し得るチャンスが拡大。また、多くの子供たちが担う地域経済の生産性の向上の余地も大きい。

⇒ こうした視点で見ると、下記の課題

- (1) デジタル技術の学習が「D情報の技術」に閉じており、内容も諸外国と比べて見劣りする。
- (2) 他の3領域（A材料と加工、B生物育成、Cエネルギー変換）でデジタル技術との関連が図られていない。

- (3) 全体として、技術を活かして一人一人が実生活・実社会の課題解決を行う取組が不十分。

⇒ 以下の方角で改善を図ることとしてはどうか。



- ① ①情報技術の活用、②情報技術の適切な取扱い、③情報技術の特性の理解の観点から、小学校段階での改善を土台として、大幅な充実（生成AI、プログラミング、情報セキュリティ等）を行うとともに、他の3領域の基盤と位置づけてはどうか。
- ② A B Cの3領域について、3Dプリンタ、センシングデータ、シミュレータの活用等、情報技術との関わりを強化する観点から、取り扱う内容を充実してはどうか。
- ③ 4領域を横断する内容を含め、技術を活用して実生活・実社会の課題を探索的に解決する内容の充実を図ってはどうか。

○今後の具体的論点（質の高い探索的な学びの実現）

- ・ 小学校段階での一定レベルの情報活用能力の育成を前提とすれば、総合ではなく、現行の技術・家庭科（技術分野）を主たる受け皿と想定し、生成AI等の先端技術を含めた適切な取扱いや特性の理解を学び、総合をはじめ各教科等での探索的な学びのプロセスに活かしてはどうか。
- ・ こうした観点から、中学校では、技術・家庭科を2つの教科に分離した上で、現行の技術分野において情報技術をより深く、広く学ぶこととしつつ、情報（D）領域のみならず、A～C領域でも情報技術との関連を強化し、全体として「ものづくり」と実生活・実社会を繋げる探索的な学びを充実させてはどうか。

おわりに

次期学習指導要領に関する情報をお伝えしました。今回の議論においては、ものづくりが情報に変わるということではないですが、リアルなものづくりをデジタル基盤で支え、全ての生徒がテクノロジーによって、自分の思いや願い、意志を具現化することに挑戦できる授業づくりを期待されていることがうかがえます。

委員会としては今後も国の動向を注視しながら、会員の皆様に情報提供していきたいと思います。

令和7年度 技術・家庭教育研究推進の計画

1 研究主題・研究のねらいについて

(1) 研究主題

よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成
－「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して－

(2) 研究のねらい

よりよい生活を創造し、社会を支える資質・能力を育てるために、

- ① 基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けさせる。
- ② 自ら問題を見いだして課題を設定し、解決するための力を身に付けさせる。
- ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けさせる。

2 研究の推進について

- (1) 研究推進の手引き（愛媛県教育研究協議会）による研究を行う。
- (2) 学習指導要領に基づき授業実践を行い、問題点を洗い出し、指導計画や教材・教具等の改善・開発を行う。
- (3) よりよい授業づくりに向けて、評価計画や評価の方法について研究を進める。

3 夏季実技研修会について

- (1) 技術・家庭科担当教師の技術的能力の向上を図り、基礎的・基本的事項の指導の徹底を図る。
- (2) 県下各管区の共同研究を拡充し、本教科担当教師の指導力の向上を図るとともに、親睦を通して相互の連帯意識を高める。
- (3) 実施計画に沿った研修を行う。内容は各管区および支部の実情に合ったものにし、参加しやすい会にする。
- (4) 学習指導要領における指導計画や教材等の情報交換を行い、各自が研究を推進していけるようにする。

管区名	所属支部名
東予東部	四国中央、新居浜
東予西部	今治・越智、西条
中予	松山、東温、伊予、上浮穴
南予	大洲、喜多、八幡浜、西宇和、西予 宇和島、北宇和、南宇和

7月から8月にかけて、上記の4管区で夏季実技研修会を実施しました。その様子は「技・家だより 第2号」で詳しくお伝えいたします。

4 令和7年度 第12回愛媛県技術・家庭科教育研究会(小中合同開催)について

令和7年8月4日(月)に、愛媛大学教育学部附属小学校・附属中学校にて、第12回愛媛県技術・家庭科教育研究会(小中合同)が開催されました。

内容

分科会	
【技術分野】 開会あいさつ 愛媛県教育研究協議会 技術・家庭委員会 委員長 原 寛幸	【家庭分野】 開会あいさつ 愛媛県教育研究協議会 技術・家庭委員会 小学校部会委員長 高橋 博美
指導講話 愛媛県教育委員会 義務教育課教育指導グループ 指導主事 山口 功一	指導講話 愛媛県教育委員会 義務教育課教育指導グループ 指導主事 楠本 千恵
教材研究 「ブレッドボードを用いた、電気回路の設計と授業での利用」 講師 愛媛大学教育学部技術研究室 講師 正田 義明 愛媛大学教育学部附属中学校 教諭 薬師神吉啓	研究発表・研究協議 中国・四国中学校 技術・家庭科研究大会鳥取大会の発表に向けて [研究発表] 四国中央市立三島東中学校 教諭 日野 文香 研究発表・研究協議 R8中国・四国小学校家庭研究大会愛媛大会に向けての研究の方向性と授業づくり [研究発表] 小学校家庭科研究部長 白方 教子
閉会あいさつ 愛媛県教育研究協議会 技術・家庭委員会 副委員長 森実 直人	閉会あいさつ 愛媛県教育研究協議会 技術・家庭委員会 副委員長 関野 幸恵

今年度も多くの先生方が参加し、盛大に行うことができました。

研究会を通して、新たな知見を得るとともに、今後の技術・家庭の在り方について考えを深めることができました。愛媛県下で頑張る仲間の存在に、強く励まされる一日となりました。

指導や研究発表をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。



5 実践集録(第63号)について

- (1) 指定された各分野、各内容の実践報告、題材開発、授業研究などの内容をまとめたものとする。
- (2) 各市町村で行っている授業研究会等で行った指導案・ワークシート・学習の流れを県下に周知し、授業構能力等の資質向上と情報の共有化を図る。

6 第25回 全国中学生創造ものづくり教育フェアについて

(1) 愛媛県『生徒作品コンクール』

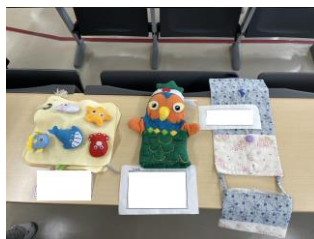
担当：事務局 平岡、小田、猪川、兵頭
広報局 木下、河本、小山

愛媛県技術・家庭科教育研究会にて、各管区から持ち寄った作品の最終選考を行いました。

どの作品も製作者の工夫と努力が見られ、素晴らしいものばかりでした。

中四国大会、全国大会の代表に選ばれた生徒の皆さん、おめでとうございます。

来年度も、沢山の出品をお待ちしております。



(2) 『木エチャレンジコンテスト』

(担当：研究局 薬師神、井ノ口)

与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を材料と加工の技術により解決できる作品を設計・製作する。作品は製作時間4時間以内で完成させる。

ア 使用できる材料は、木材あるいは集成材の板と合板1枚とする。樹種は自由。

イ 作品の大きさは、3辺の合計長さが160cm以内。

(3) 『豊かな生活を創るアイデアバッグ』コンクール

(担当：研究局 土手、向井)

ア バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

イ 衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。
(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用するなど)『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

ウ 入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。スナップは、必ず1つ以上付ける。

エ 3時間程度で製作できる作品とする。

(4) 『あなたのためのおべんとう』コンクール

(担当：研究局 土手、兵頭)

「魚を使った調理」を主菜とする。魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でもかまわない。1グループ1～2名のチーム競技とする。1人は交代可、事前に応諾書を提出する。

(5) 『創造アイデアロボットコンテスト』

(担当：研究局 上岡)

ア 競技部門

○ 基礎部門 「積み上げ達人」

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できるロボットの部門。

○ 制御部門 「Mission is “整地！2025”

by プログラムカー」

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で参加できるロボットとプログラミングの部門。

○ 応用部門 【ジ・「メッセージタワー2」】

中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットの部門。

○ パフォーマンス部門

ダンスや機能など、対戦競技型にとらわれないオリジナルロボットのパフォーマンスを発表する

イ エントリー

11月23日(日)予定の県大会(港南中)を経て、徳島県での中四国地区予選(12月7日)に出場。

地区予選大会等の結果により、全国大会に出場する。県大会の詳細については、各中学校に告知文を後日配付予定。

昨年度、愛媛県代表の選手の皆さんは、全国大会でも優秀な成績を収めました。今年度も多くの参加者を募りたいと思います。



(6) 『プログラミングコンテスト』

(担当：研究局 薬師神、井ノ口)

○ 全日本中学校技術・家庭科研究会と毎日パソコン入力コンクール事務局が、プログラミング学習教材として授業で使えるアプリを開発。専用のアプリで学習と演習を繰り返しながら、チャットボットの制作を行う。

○ 参加資格・選抜の方法

◇ 予選大会：中学生であれば誰でも参加できる。

◇ 全国大会：予選大会参加者のうち、2025年11月20日(木)までに団体登録をされた先生によって「2次予選参加」を申し込んだ生徒が選抜対象となる。

令和7年度 技術・家庭委員会(中学校)役員表

本部役員

役 職	氏 名	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
委 員 長	原 寛幸	松山市立旭中学校	791-0112	松山市下伊台町 1105 番地 1	089-977-4362
四国会長	神野 泰二	松山市立東中学校	790-0826	松山市文京町 2 番地 2	089-924-8588
副委員長	森実 直人	四国中央市立三島東中学校	799-0413	四国中央市中曾根町 199 番地	0896-28-6098
	関野 幸恵	西条市立東予西中学校	799-1322	西条市国安 996 番地	0898-66-5042
	北川 雅士	松山市立勝山中学校	790-0823	松山市清水町三丁目 148 番地 2	089-925-4005
	村上 剛	八幡浜市立保内中学校	796-0201	八幡浜市保内町川之石 1-243-1	0894-36-2345
事 務 局	平岡 宗悦	松山市立椿中学校	790-0947	松山市市坪南 1 丁目 1 番 20 号	089-957-8650
	猪川 篤美	松山市立内宮中学校	799-2654	松山市内宮町 569-1	089-978-0046
	小田 祐太郎	松山市立小野中学校	791-0243	松山市平井町 3690 番地	089-975-0988
	兵頭 しづか	伊予市立港南中学校	799-3113	伊予市米湊 500-1	089-982-0063
	勝木 規夫	東温市立重信中学校	791-0204	東温市志津川 991	089-964-2007
研 究 局	薬師神 吉啓	愛媛大学教育学部附属中学校	790-0854	松山市持田町 1 丁目 5 番 21 号	089-913-7849
	土手 佳代	松山市立北中学校	799-2662	松山市太山寺町 491 番地	089-978-3321
	濱田 伸哉	松山市立久米中学校	791-1102	松山市来住町 689 番地	089-975-0501
	向井 喜子	松山市立余土中学校	790-0043	松山市保免西 4 丁目 5 番 23 号	089-972-0010
	上岡 公紀	伊予市立港南中学校	799-3113	伊予市米湊 500-1	089-982-0063
	井ノ口 光彦	砥部町立砥部中学校	791-2121	伊予郡砥部町千足 68	089-962-2007
編 集 局	河合 康成	松山市立南中学校	790-0932	松山市東石井 7 丁目 2 番 52 号	089-956-1373
	山口 暁美	松山市立北条南中学校	799-2436	松山市河野別府 12	089-994-0230
	窪田 宏輝	松山市立津田中学校	791-8031	松山市北斎院町 1106 番地	089-972-0019
広 報 局	木下 法彦	松山市立久谷中学校	791-1133	松山市浄瑠璃町 940	089-963-1025
	河本 優月	愛媛大学教育学部附属中学校	790-0854	松山市持田町 1 丁目 5 番 21 号	089-913-7849
	小山 清	松山市立北条北中学校	799-2430	松山市北条辻 365 番地	089-993-0038

管 区 長

管 区	氏 名	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
東 予 東	山川 修平	四国中央市立川之江北中学校	799-0101	四国中央市川之江町 2390	0896-28-6287
	渡部 奈津子	四国中央市立三島西中学校	799-0422	四国中央市中之庄町乙 38 番地の 1	0896-28-6100
東 予 西	南條 元皇	今治市立菊間中学校	799-2303	今治市菊間町浜 2628 番地 1	0898-54-2069
	竹内 由美子	西条市立東予東中学校	799-1371	西条市周布 160 番地	0898-64-2132
中 予	小田 祐太郎	松山市立小野中学校	791-0243	松山市平井町 3690 番地	089-975-0988
	中矢 敏子	松山市立勝山中学校	790-0823	松山市清水町三丁目 148 番地 2	089-925-4005
南 予	中道 大和	八幡浜市立保内中学校	796-0201	八幡浜市保内町川之石 1-243-1	0894-36-2345
	山口 留美	宇和島市立三間中学校	798-1115	宇和島市三間町戸雁 771 番地	0895-58-2006

副管 区 長

管 区	氏 名	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
東 予 東	森本 陸	新居浜市立中萩中学校	792-0045	新居浜市中萩町 13 番 31 号	0897-43-5131
	春園 彩奈	新居浜市立中萩中学校	792-0045	新居浜市中萩町 13 番 31 号	0897-43-5131
東 予 西	飯尾 謙一	西条市立西条南中学校	793-0030	西条市大町 1120 番地	0897-56-0380
	正岡 佳奈代	今治市立北郷中学校	799-2115	今治市中堀 4 丁目 1-1	0898-41-9051
中 予	井ノ口 光彦	砥部町立砥部中学校	791-2121	伊予郡砥部町千足 68	089-962-2007
	兵頭 しづか	伊予市立港南中学校	799-3113	伊予市米湊 500-1	089-982-0063
南 予	松浦 一	宇和島市立城東中学校	798-0080	宇和島市新田町 3 丁目 3 番 1 号	0895-22-3043
	上田 玲子	大洲市立肱東中学校	795-0081	大洲市菅田町菅田甲 1790	0893-25-2910

広報局より

日頃より「技・家だより」を見ていただいているすべての方々に感謝申し上げます。沢山の方々のご協力を得て、この度、技・家だよりを発行することができました。本当に感謝いたします。ホームページに過去の「技・家だより」や各局からの案内を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

(愛媛県技術・家庭委員会 <http://ehime-gika.com/hp/>)